



2014-2015年度

広島北

ロータリークラブ週報



Rotary Club of Hiroshima North
2015年6月18日発行 Vol. 1436

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン 氏
国際ロータリーテーマ

LIGHT UP ROTARY
ロータリーに輝きを

■会長 河本 浩一 ■幹事 合田 尚義
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail: hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

| | | |
|-----------|---------------|--------|
| ■本日の例会 | 2015年6月18日(木) | 第2229回 |
| ロータリーソング | 「手に手つないで」 | |
| 来客紹介 | ロータリー家族親睦委員会 | |
| 寄付表彰 | | |
| 会長時間 | | |
| 幹事報告 | | |
| 委員会・同好会報告 | | |
| ニコニコ箱 | | |
| 卓話時間 | 「退任挨拶」 正副会長幹事 | |

会長挨拶 会長 河本 浩一

皆様今日は。ご来会の皆様、ようこそお越し下さいました。会員一同心から歓迎申し上げます。

さて、1950年から20年間近くに及ぶ産業史に残る巨大グループ同士の熾烈な抗争がありました。それがいわゆる「箱根山戦争」とも言われますが、西武グループと小田急・東急グループの両社が繰り広げた観光開発の角逐は、まさしく仁義なき戦いそのものでした。抗争が止めどもなく続いたのには、箱根という土地の魅力ゆえに違いありません。芦ノ湖の景観も溢れる湯も、そもそも火山活動がもたらしたのです。それが今、新たな緊張、一火山性地震で揺れています。

四季折々、晴れてよし、雨もまた風情の名高い箱根は元をただしてゆくと、不気味な山の鳴動でもあります。箱根に限らず、わが国の美観は、起伏に富む大地と四季との合作にほかなりません。ある火山学者曰く、「世の中に美しいものが2つある。天にオーロラ、地に噴火」。まさに人間の一生とは比較にならぬ悠久の時間のなかで息づく火山、一たしかに災害も起こしますが、大地の恵み、豊かな景観や温泉などの恵みももたらします。言い換えれば、地震や噴火などで造形され、台風や大雪で彫刻された天然の美にその淵源があります。名だたる火山島に住み、自然への畏怖と共に生きてきた日本人、一まさに大地の震えと共に生きているのはこの国に住む者の宿命でもあります。

先月29日、今度は九州から南西諸島へと带状に伸びる火山フロントにあたる口永良部島で噴火が起きました。そこはまさに屋久島から西12キロ先の「緑の火山島」、です。悠久な時を振り返れば、島内の新岳は1933～34年に数回噴火し、死者8人、負傷者26人が出ています。

思うに、人は時に泣かされながらも折り合いをつけ、自然の恩恵を受けてきたのが日本人の心でした。ふんだんな温泉でとろける至福も、災いを併せ持つ火山の恵みでもあり、いいことづくめとは、ゆかないところに道理があります。いずれにしても安全第一は当然ですが、荒ぶれる自然とどう向き合おうか。求められているのは、風評に惑わされない予知観測の充実、現実的な避難と減災への知恵が、今人間に試されています。

ところで、日々の私たちの生活、つまり人生を振り返ってみても、笑ったり泣いたり、得をしたり損をしたり、山あり谷ありが人の道でもあります。人生の禍福は糾える縄の如しで、よきことばかりではありません。つまり、人間を含めて自然界すべての営みは、光と影から成り立っていることに気づきます。まさに疾風怒涛のごとき人生航路を安全に進んでゆくための知恵の一つが、ロータリークラブ発祥の原点だったことに改めて気づいた次第です。ご清聴に感謝し、会長の時間を終わります。有難う存じます。

幹事報告 幹事 合田 尚義

- *ロータリーの友誌(BOX配布)
- *新会員候補者照会書類(BOX配布)
- *連続出席表彰バッジアンケート(BOX配布)

前回例報告 2015年6月11日(木) 第2228回

| | |
|-----------|---------------|
| ロータリーソング | 「われらの生業」 |
| 来客紹介 | ロータリー家族親睦委員会 |
| 連続出席表彰 | |
| 会長時間 | |
| 幹事報告 | |
| 委員会・同好会報告 | |
| ニコニコ箱 | |
| 卓話時間 | 「退任挨拶」 常任委員長他 |

連続出席表彰



左から、5年・島本会員、10年・栗屋会員、7年・塩本(能)会員、20年山坂会員 おめでとございます！



また、永年連続出席表彰として、20年の山坂会員および10年の栗屋会員にはクラブから記念品を贈りました。

委員会報告

会報IT委員会 本田会員

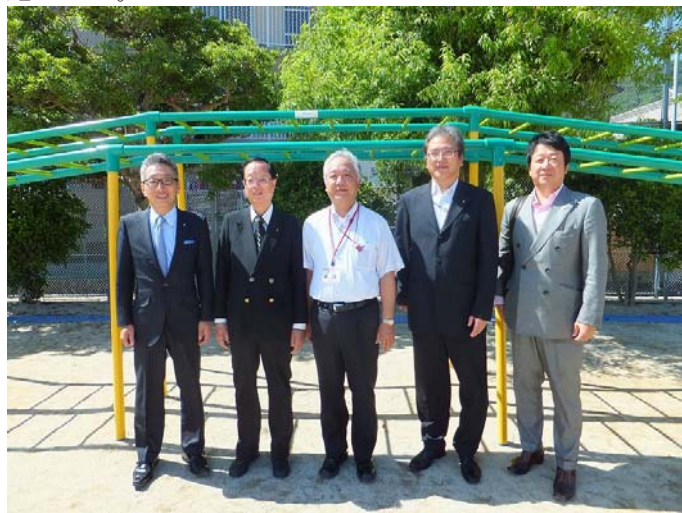
ロータリーの友誌見どころ紹介

次年度出席委員会 庄子委員長

次年度の連絡出席表彰バッジのアンケートをBOXにお配りしています。普通の会員バッジまたは数字入りバッジのどちらかをお選びください。

社会奉仕委員会 岡部委員長

広島豪雨災害支援として「梅林小学校への遊具寄贈」事業を実施しました。



同好会報告

野球同好会

6/12-13 甲子園遠征について

登山同好会

6/27-28 恐羅漢ツアーの案内

ニコニコ箱

ニコニコ委員会

【自主出宝】

河本会員・中山会員・合田会員・二井本会員・佐々木会員

先週の例会終了後、安佐南区の梅林小学校にて、社会奉仕委員会の豪雨土砂災害支援事業の一つである、校庭遊具寄贈事業の贈呈セレモニーが行われました。社会奉仕委員会の皆さん、お疲れ様でした。

河本会員・中山会員・合田会員・二井本会員・佐々木会員

今年度の通常例会も本日と次週の2回を残すのみとなりました。本日の卓話時間は退任挨拶となっております。理事・委員長の皆様1年間大変お疲れ様でした。退任挨拶の方、よろしくお願いいたします。

粟屋会員★ 連続出席のお祝いを頂き、ありがとうございます。アツという間の10年でした。10年間皆さまには大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。これからも引き続きご指導のほどよろしくお願い致します。

上河内会員 本年度、奉仕プロジェクト常任委員長の上河内です。本日退任の挨拶をさせていただきます。一年間ご協力ありがとうございました。

塩本(能)会員 思わぬ連続出席のお祝いありがとうございます。

高原会員◇ 先日の誕生日には多くの方から祝いのメッセージを頂き、大変喜んでいきます。

卓話時間

『退任挨拶』



ロータリー財団常任委員長
中尾 建三 会員

ロータリー財団、米山奨学委員会担当の例会を行ったり、各委員会の委員から会員個々にお話し、両寄付に対しての理解を深めて頂く活動を行いました。「会長賞に丸丸となって挑戦する」という本年度の目標に対し、両委員会は責任を果たす事ができました。皆様、一年間ご協力ありがとうございました。



奉仕プロジェクト常任委員長
上河内 裕司 会員

本年度、奉仕プロジェクト常任委員長を務めさせて頂きました、上河内です。職業奉仕に坪内委員長、社会奉仕に岡部委員長、国際奉仕に渡部委員長、青少年奉仕に越智委員長という素晴らしいメンバーとともに活動をしてまいりました。職業奉仕はガバナーの一番の重点方針ということで、色々職業奉仕について学んでいくつもりでしたが、思うように事が運びませんでした、と言うより、坪内委員長にスルーされてしまいました、あれだけ坪内会員の下で、一生懸命尽くしてきたのにです、しかし、本当のところは、職業奉仕はロータリークラブメンバーとして理解して当たり前で、常識だということが言いたかったのも、わざとやらなかったのではないかと今は思っています。社会奉仕については、思いもかけない、広島豪雨土砂災害が起こり、どんな支援がいいのか、色々考えながら一年間活動をしたように思います。

国際奉仕では二回目になりますが、タイの小学校に浄水器を設置しました、すばらしい事業であります、会員の皆さんへの認知度が少し足りないように思いました。今後は全会員に認知されるような形で活動をしていただけたらと思っています。青少年奉仕は、この委員会単独での事業、と言うものを模索してきましたが、実際は、単独での事業というよりも社会奉仕と合同で行う事業、他の委員会を巻き込むような事業のほうが、やはり、しっくりくるのかなと、思った一年でした。



皆様のご協力により充実した活動を進めることが出来ました、一年間ありがとうございました。

当日計 24,000 円(内、web21,000 円) 累計 1,333,400 円

★=10,000 円 ☆=5,000 円 ◆=3,000 円 ◇=2,000 円



奨学育英資金特別委員長
丸本 佳生 会員

「奨学育英資金制度」は、創立15周年記念事業として始めた伝統ある支援事業でしたが、銀行金利低下等で資金不足

になり、本来奉仕事業に使用されるニコニコ資金を使用して、奨学金に充てていましたが、昨年度、規約の一部変更に伴い「奨学育英特別資金」を、一部取崩す事で今年度も継続できました。「東日本大震災の避難者高校生に対する奨学育英資金」を創立45周年記念事業とし一般公募を行い、今年度も県内の高校生9名(継続5名、新規3名)を決定しました。

また、3月には職業奉仕委員会と共同で職業指導懇談会を実施、奨学生の皆さんが将来就きたい職業に対して指導やアドバイスを行うということをしました。

昨年度は奨学金資金不足の中、制度存続の有無も検討しましたが、規約の一部変更も行いまして、基金と、資金を区別し、資金を、一定のルールの中で取り崩し、この奨学制度が継続出来た事に感謝しております。

また、奨学生を選択に当たり、各学校の担当先生に任せきりな所がありましたが、推薦者について、2年も経験すると担当の先生と、家庭状況等を再三に渡り意見交換する事が出来まして、学力の有無に関係なく、本当に必要な学生を選択出来た事に満足しております。2年間奨学育英資金特別委員会に携わらせて頂き良い経験が出来ました。誠にありがとうございました。



広報常任委員長
中根弘幸 会員
(代読 畑 会報IT委員長)

今年度、広報常任委員会の理事・委員長を務めさせていただいた中根です。

会報・IT委員会の委員長、副

委員長は、良く頑張ってくれました。二人の実行力が第1例会から早速発揮され、ディスプレイバックパネルを製作して写真撮影の背景を飾っておりました。

皆さん、覚えておられますでしょうか？サッカーや野球のインタビュー等で見た事があると思いますが、これを背景に写真を撮ると、綺麗で宣伝にもなるもので、我々委員会のメンバーは盛り上がったのです。ところが、職場訪問例会にも持参できるようにと軽量・コンパクトな仕様にしたのが躓(つまづ)きの元で、骨組み部分が数ヶ月で壊れてしまいました。誠に残念です！また、アナログ人間の私が理事を担当したせいか、細かい作業を委員の方々に全てお任せしてしまい、申し訳なく思っております。

しかし、この一年間で私自身は成長しました。就任当初は、ガラケー保持者の私も、昨年iphone6に変更し、娘とLINEで会話できるようになりました。皆さん、LINEはとっても便利です。今後、逢坂さんともライン友達になりたいと思います(逢坂さんからは拒否されるかも知れませんが・・・)。

また、訳も分からずFacebookに登録したりと、少しずつ世の中の変化に追いついております。その意味で、広報常任委員会の理事・委員長という役職を与えていただき、本当に感謝しております。

心残りなのは、資料保存の問題が全く手つかずになってしまったことです。しかし、この問題は、次年度の杉町委員長がきっと立派に処理して下さいと思います。杉町次年度委員長にエールを送ることで、私の退任挨拶としたいと思っております。一年間ご協力有り難うございました。



クラブ管理運営常任委員長
山坂 哲郎 会員

年初に、「例会に出席してよかった。楽しかった。」と会員に言っていただけのことと、家族会により多くの家族の皆様にご参加

いただき楽しんでいただくことを目指し、会員と家族の親睦を深めることを目標としましたが、概ね、その目標は達成できた1年であったように思います。

次に、各小委員会の報告をします。

- ・ロータリー家族親睦小委員会 委員長 島本 章生
マリナホップでの夏の家族会、祝寿の会(広川会員の傘寿のお祝いをする会)、クリスマス家族会、創立46周年夫人同伴懇親会を行いました。最終例会新会員歓迎会を6月25日に行う予定です。
- ・出席小委員会 委員長 島田 忠征
事業計画で年間100%を目指しましたが、残念ながら達成することはできませんでした。
- ・プログラム小委員会 委員長 久保 豊年
広陵野球部 監督 中井哲之 氏、バカラパシフィック(株) 代表取締役 小川 博 氏、野球解説者 高橋 建 氏、七代 金城 一 国斎(漆芸家)、京都大学大学院工学研究科 教授 藤井 聡 氏などを講師としてお招きし、卓話を行って頂きました。
- ・ニコニコ小委員会 委員長 塩本 能尚
出宝累計額は、当初計画の最低限には達しました。



会員の皆様、1年間ご協力ありがとうございました。



SAA長 三保 二郎 会員

本年度SAAが特に取り組んだものは例会中の私語、携帯電話、居眠りの排除でした。会員の皆さんにご理解とご協力のお蔭で大きな効果が上がったと思っております。ご協力ありが

うございました。

- 出席報告 出席委員会
2015年6月11日(木) 会員数 88名
出席 76名 欠席 21名 来客 1名
5月28日例会出席率 100%
5月度平均出席率 100%
- 来客紹介 ロータリー家族親睦委員会
若林 和明 様(広島芸芸)
- 次回例会 2015年6月25日(木)18:00~
『最終夜間例会 & 新会員歓迎懇親会』
※昼の例会を夜に変更して行います。